

一学校教育目標一

よく学び 心豊かで

たくましい上間っ子

- (1) よく考え進んで学ぶ子
- (2) 明るく思いやりのある子
- (3) ねばり強くたくましい子

学校便り

第33号

上間っ子

R6年2月1日(木)

那覇市立

上間小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3327



お話朝会

—キャリア・パスポート「なりたい自分に向かって」—



体のケア	サプリメント のむ	FSQ90kg	インステップ 改善	体幹強化	軸を ぶらさない	角度を つける	上から ボールを叩く	リストの 強化
柔軟性	体づくり	RSQ130kg	リリース ポイントの 安定	コント ロール	不安を なくす	力まない	キレ	下半身 主導
スタミナ	可動域	食事夜7杯 朝3杯	下肢の 強化	体を 開かない	メンタル コントロール をする	ボールを 前でリリース	回転数 アップ	可動域
はっきりと した目標、 目的を持つ	一言一葉 しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コント ロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに 強い	メンタル	雰囲気 に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km	体幹強化	スピード 160km	肩周りの 強化
波を つづらない	勝利への 執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチング を増やす
感性	愛される 人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウント ボールを 増やす	フォーク 完成	スライダ のキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に 扱う	運	審判さん への態度	運く落差の あるカーブ	変化球	左打者への 決め球
礼儀	信頼される 人間	継続力	プラス思考	応援される 人間になる	本を読む	ストレートと 同じフォーム で投げる	ストライクから ボールに強ける コントロール	奥行きを イメージ

今日のお話朝会は、「キャリア・パスポート」の意義を知ってほしくて、こんな話をしました。

まず、大谷翔平選手の写真をスクリーンに示して、こんな話をしました。

上間っ子が四月に、一年間の目標を立てたように、大谷選手が高校1年生のころ、こんな高校三年生になってみたいという目標を立てました。こういうものです。「マンダラチャート」といいます。

まず、9つのマスの真ん中に、めざすゴールである目標を決めます。「高校を卒業する時に、プロ野球の8つの球団から一位で指名を受ける」と、決めました。次に、目標をかなえるために大切なことを考えて、周りの8つのマスに書きます。その8つの大切事を達成するために具体的に何をしていくかを書いていきます。すると、全部で81マスの「夢の実現マップ」ができあがります。この中の1つに、「運」というものがあります。大谷選手は、運がよくなるために、次の8つのことを考えて行いました。①あいさつ。②ゴミひろい。③部屋掃除。④道具を大切に扱う。⑤審判さんへの態度。⑥プラス思考。⑦応援される人間になる。⑧本を読む。まだ若い時にこれを考えて思っていたことを本当のことにしていった大谷選手のすばらしさがわかりますね。大谷選手のようなものをすぐに作るのには難しいです。

でも、それに代わるものを上間っ子もっています。それは、毎年、1学期、2学期、作成している「キャリアパスポート」です。学年によって書く内容は少し違いますが、目的は大谷選手のものと同じです。毎年書いている上級生の上間っ子にはわかると思いますが、なりたい自分になるために何をしていくかが大切です。その達成度を、学期の初めや終わりに振り返ります。がんばったこと、できたこと、ちょっと努力が足りなかったこと、だから、新しい学期はここをもっとがんばろう、達成できたから、次の学年はこういう目標を立てようなどです。次の学年と言いましたが、このキャリア・パスポートはこれがすごいところです。今の学年の1年間で終わらないということです。小学校6年間、中学校、高校までつながっています。毎年、1年間の目標、将来の夢、なりたい自分に向かって、具体的に何をするのか、その達成度を振り返り、自分で分析して、繰り返し未来の自分をイメージしていきます。自分自身で分析して、挑戦していく力を育てます。上間っ子も、ぜひ、自分の夢に向かってがんばっていきましょう。